



那覇新都心は面積約214ha、計画人口約2万1千人で、那覇市中心市街地から約2km、那覇空港から約5km、地区の三方を国道58号、国道330号及び主要地方道那覇糸満線、さらに地区の東側は沖縄都市モノレールにも接しているという恵まれた立地条件にあります。

これらの特性を活かし、沖縄を支える新しい都市拠点として、商業・業務・行政機能、総合公園と一体となった文化機能、高水準の住宅地等を有する魅力ある新都心を形成すべく計画され、大規模な基地跡地開発（地区面積約214haのうち大半、約190haが元米軍住宅用地）として全国的な注目を集めた事業です。

UR都市機構により、平成4年9月より土地区画整理事業が実施され、仮換地・造成工事を実施し、12年を経て平成17年1月に換地処分公告が行われ竣工しました。

本格的な使用収益を開始した平成12年以降、順調に建物の立地が進み、平成18年1月現在では、全宅地面積の約6割が供用を開始、人口1万3千人（約5600世帯）が居住しています。

沖縄らしく、未来が見えるまち 那覇新都心

事業の内容

所在地	沖縄県那覇市（那覇市中心市街地の北側に隣接）
計画面積	約214ha
計画人口	約21,000人
市街地開発事業等の種類	土地区画整理事業
分譲	業務用地は平成9年3月から分譲開始 住宅用地は平成11年5月から分譲開始
主な施設	【国】第二合同庁舎1期棟（II期棟建設中）、沖縄職業総合庁舎【沖縄県】博物館・美術館（建設中）、那覇国際高校、県営住宅【那覇市】総合公園、新都心銘苅庁舎、銘苅小学校、市営住宅【公的機関】NHK、沖縄公庫、那覇新都心メディアビル、日本銀行那覇支店（予定） 【民間施設】りうぼう薬市、サンエー、コープおきなわあつぷるタウン、DFSギャラリー沖縄
照会先	UR都市機構 沖縄総合開発事務所 総務分譲課 tel.098-869-3192



コープおきなわあつぷるタウン



沖縄職業総合庁舎



DFSギャラリー沖縄



県立那覇国際高校



りうぼう薬市



新しい秋田市の核となるまち 秋田新都市

秋田藩二十万石の城下町の秋田市は、現在は人口33万7千人の県都として政治・経済・文化の中心都市となっています。御所野ニュータウンは、計画面積約380ha、計画人口約7,800人で、秋田空港及び秋田自動車道秋田南ICに近接し、国道13号を通じて秋田市街地へのアクセスも抜群です。秋田市の都市機能を補い、新たな地域社会の創造を目的に、住宅、工業・流通、医療、福祉、教育等の用地が総合的に整備されています。

平成元年に分譲を開始し、現在では約2,200世帯、6,300人が居住し、39社が操業、約3,000人が就業しています。

ニュータウン内には、幼稚園や保育園、小学校をはじめ、県内初の中高一貫校「御所野学院」も開校、東北有数の「イオン秋田ショッピングセンター」があり、隣地には大型ショッピングモール「フレスポ秋田南（仮称）」も今秋生まれます。特別養護老人ホームをはじめとする「秋田県中央地区老人福祉エリア」、勤労者総合福祉センター「秋田テルサ」も立地、「御所野総合公園」をはじめ、緑の家並みと快適な住環境のまちとなっています。



事業の内容

所在地	秋田県秋田市（秋田市中心市街地から南東へ約8km）
計画面積	約380ha
計画人口	約7,800人
市街地開発事業等の種類	一般宅地造成事業
分譲	産業用地は平成元年2月から分譲開始 住宅用地は平成元年6月から分譲開始
主な施設	老人福祉総合エリア（中央シルバーエリア） 勤労者総合福祉センター（秋田テルサ） イオン秋田ショッピングセンター
主要交通基盤	秋田自動車道（秋田南IC）
照会先	UR都市機構 秋田市開発事務所 総務分譲課 tel.018-889-8901 秋田県 建設交通部 都市計画課 tel.018-860-2445 秋田市 商工部 工業労政課 tel.018-866-2114



元町地区



イオン秋田ショッピングセンター



シルバーエリア